

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させてい
たいただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 広島大学附属小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒 734-0005
広島市南区翠一丁目1番1号
Website : http://home.hiroshima-u.ac.jp/fushou/
児童生徒数：男子 224名 女子 224名 合計 448名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

広島大学附属小学校型ESDカリキュラムに基づく、今年度の主な活動は、次の通りである。

3年：宿泊単元学習「海辺の生活」

総合的な学習の時間・理科等の時間を利用し、江田島付近の海に住む生き物について、インターネットや図書の本で調べ、冊子にまとめさせた。そして、実際に宿泊単元「海辺の生活」実施時に、さとうみ科学館の館長さんをゲストティーチャーとして招き、江田島の海の生き物の生態や瀬戸内海的环境について詳細な内容を探求させた。また、カブトガニを観察したり、ハクセンシオマネキやヒトデに直に触れたり、ウミホタルが青白く光る様子を観察する等して、海に住む生き物についての理解を深めた。

3年：「広島市のうつりかわり—路面電車を通して—」

社会科の時間を利用し、広島市の路面電車の歴史を調べる活動を通して、原爆の被害の状況や戦後の広島市の復興について学習した。原子爆弾から生き残った人々の懸命な復旧作業により、広島市の路面電車は、原爆投下の3日後には一部区間で走ったとされる。そのような路面電車の歴史や人々の営みを知ることによって、戦争の恐ろしさや平和の大切さについて考えさせ、戦争の背景について理解を深める学習を構成した。

5年：ライスプロジェクトへの参加

社会科・家庭科・総合的な学習の時間等を活用し、ライスプロジェクトに参加する中で、日植え、稲刈りの体験、里山学習等の地域資源の活用、また、農家との交流等を図り、日本の食文化に対して体系的な思考力を育成する活動を構成し、実践した。

5年：「これからの日本のエネルギー」

総合的な学習の時間、社会科等の時間を活用し、「これからの日本のエネルギー」の授業を実施した。学習展開の概要は次の通りである。

①福島原発事故の人的・社会的影響を調べる。②原子力発電所について安全性、経済性、持続可能性の視点からまとめる。③原子力発電所と他の発電所の違いをまとめ。④原子力発電がなくなったら、どうなるかシミュレートする。⑤これからの日本のエネルギーについて、提言する。

最後の場面では、これからの日本のエネルギーについて、持続可能な社会形成の視点から、どのような発電を選ぶのか意思決定させ、未来に向けて提言させることで、体系的な思考力育成につなげた。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（ 2012年度ユネスコスクール活動報告資料 ）